



白石区ふるさと会/札幌市白石区

白石でっち奉公

平成
28
年度

奮闘記

白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験をする事業です。

昔の子どもたちにとって、地域で働く大人の背中を見たり、大人に叱られたりほめられたりしながら成長することは、ごくあたりまえのことでした。

次代の白石を担う子どもたちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような思いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小中学校と協力して実施し、10校約1,400人の児童・生徒が参加する事業に成長しました。

なお、この取り組みが子どもたちの「キャリア教育」の充実に効果があると認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

平成28年度白石でっち奉公 実施概要

◆参加校・実施日

9月14日	北都中学校	205名	(2年生)	10月25日	東札幌小学校	74名	(6年生)
9月16日	北白石中学校	256名	(2年生)	11月9日	白石中学校	149名	(2年生)
9月29日	幌東小学校	50名	(6年生)	11月10日	柏丘中学校	174名	(2年生)
10月13日	日章中学校	162名	(1年生)	11月22日	米里中学校	126名	(2年生)
10月18日	南郷小学校	75名	(5年生)	11月24日	幌東中学校	146名	(2年生)

【参加者数】 区内小中学生 1,417人

【受入先】 区内企業、団体、施設等 151社